令和8年度 丹波篠山市立西紀南小学校 学習や生活に関する向上プラン

本校は、全国学力・学習状況調査（6年生）と丹波篠山市学力・生活習慣状況調査（5年生）、生活習慣状況調査（3～6年）の結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しています。学力の定着状況をご確認いただき、子どもたちの学習・生活習慣の改善にご協力をお願いします。

【調査結果の概要、課題と対応】

＜国語＞

5年生は、「漢字を読む・書く」「文章を読んで感じたことや考えたことを共有する」等の問題の正答率が高い結果でした。また無回答が少なく、真摯に問題に取り組む態度が見られました。反対に、「中心となる語を見つけて要約する」問題や「相手や目的を意識して伝えたいことを明確にして書く」などの「条件付きの作文」の問題の正答率が低い傾向が見られました。

6年生は「文章を読んで、考えたことを自分の経験と結びつけてまとめて書く」等の問題の正答率が高い結果になっていました。また無回答がなく、真摯に問題に取り組む態度が見られました。反対に、「引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」問題に課題が見られました。また、「漢字を文の中で正しく使う」問題は2つの漢字（短い・不思議）で正答率に大きな差がありました。

対応としては、漢字の宿題で反復練習をしたり、漢字テストを行ったりして継続的に定着を確認します。授業や「朝のスキルタイム」などを利用して条件付き作文に取り組ませるなど、書く活動を充実させていきます。また、読書や本読みを習慣化し、長文を読む習慣をつけていきます。

＜算数＞

5年生は、「概数の表し方」「分度器の目盛りの読み取り方」等の問題の正答率が高い結果になっていました。「平行四辺形の作図」や「表の読み取り」の正答率が低く、必要な情報を読み取る力に課題が見られました。

6年生は、「条件に合う小数をつくる」「条件に合う時間を求めることができる」等の問題の正答率が高い結果になっていました。反対に「体積」や「二つの表を見比べて誤りを見つけ、記述する」問題の正答率が低い傾向がありました。問題文から必要な数字を選び取ることに課題が見られました。

対応としては、数の概念や量感、計算力等の基礎基本の定着をはかります。そのうえで、作図や論理的思考など、課題となっている単元や領域について授業を工夫したり、復習に取り組んだりしていきます。

＜生活習慣状況調査＞

全体的に、「学級の絆」「学級の規範意識」「規範意識」についてのポイントが高く、集団生活の中で、友だちとなかよく助け合あい、ルールを守ってきちんと生活しようという意識が高い結果になりました。

一方で、学習時間が短かったり、自分の意見を伝えることに苦手意識があったりする児童もおり、SNSやゲームをする時間が多く、就寝時刻が遅い児童も高学年になるにつれて増加しています。そのため、自

分で朝起きたり、明日の用意を前日に用意したりすることが難しい児童もいるなど、生活習慣の定着に差が見られます。

本校では、みなみん生活習慣としてご家庭と手を携え、子どもたちの生活を見つめていく取組を進めており、今後も継続していきたいと思います。

【保護者の方へお願い】

本プランを提案したねらいは、児童の実態や課題を明確にし、課題解決に向けて学校と家庭が連携して学力・生活習慣の向上に取り組むことにあります。良い結果も出ていますので、引き続き励ましの声かけをしていただいたり、自主学習等を活用し、予習や復習をしっかり行うことや読書習慣を身に付けていけるよう習慣づけをしていただいたりするなど、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

今後も学校と家庭が連携し、子どもたちのさらなる成長を見守っていきたいと考えております。